

記号	配号	来	歴	年月日	承認	審査	作成	記号	来	歴	年月日	承認	審査	作成
A	B	CCH500T-5にて作成 フック追加		02.10.01 05.4.25 08.07.01	小泉 買田	古橋 有権	石川 古橋 古野	C D E						

仕様書 No.	L-CR39581
キャパシティプレート	D41016200D

Z-9441B-1

CCH500T型 クローラクレーン

定格総荷重表

クローラ張出、15.7TONカウンタウエイト

クローラフレーム ----- 標準形
 カウンタウエイト ----- 標準形

適用	ジブ長さ (m)	荷重表番号
✓	11.3m	Z-9441B-3
✓	11.3m超~19.0m以下	Z-9441B-4
✓	19.0m超~26.7m以下	Z-9441B-5
◎	26.7m超~34.4m以下	Z-9441B-6

(特記事項)

IHI建機株式会社



ベースマシン適用号機 _____

適用ジブ 番号 _____

注意事項

1. 定格総荷重は機械を水平堅土上に於ける転倒荷重の78%以内の値です。

2. 実際に巻上げ得る荷重は、各表の値からフックブロック等の吊具の質量を差引いた値です。

50tフック	490kg
30tフック	340kg
25tフック	320kg
15tフック	300kg
10tフック	430kg
6.0tフック	120kg
サルカンフック(6t)	110kg
サルカンフック(6t)	100kg
サルカンフック(6t)	60kg

3. 荷重は、ワイヤロープの掛数によって下記の如く制限されます。

6.0 tまで	-----	1 条掛	30.0 tまで	-----	6 条掛
12.0 tまで	-----	2 条掛	35.0 tまで	-----	7 条掛
16.5 tまで	-----	3 条掛	40.0 tまで	-----	8 条掛
22.0 tまで	-----	4 条掛	45.0 tまで	-----	9 条掛
25.0 tまで	-----	5 条掛	50.0 tまで	-----	10 条掛

4. ワイヤロープは「ワイヤロープ構成と安全率」の項を参照下さい。

5. トップシーブの定格総荷重は、次の様に決定して下さい。

- ・主ジブの長さと同じの値とします。但し、最大吊上荷重は6tを越えてはなりません。
- ・作業半径は、トップシーブの作業半径とします。
- ・主、補フックを装着し主、補いずれかで作業する時の実際に吊上げ得る荷重は、主、補フックの合計質量を差引いた値です。

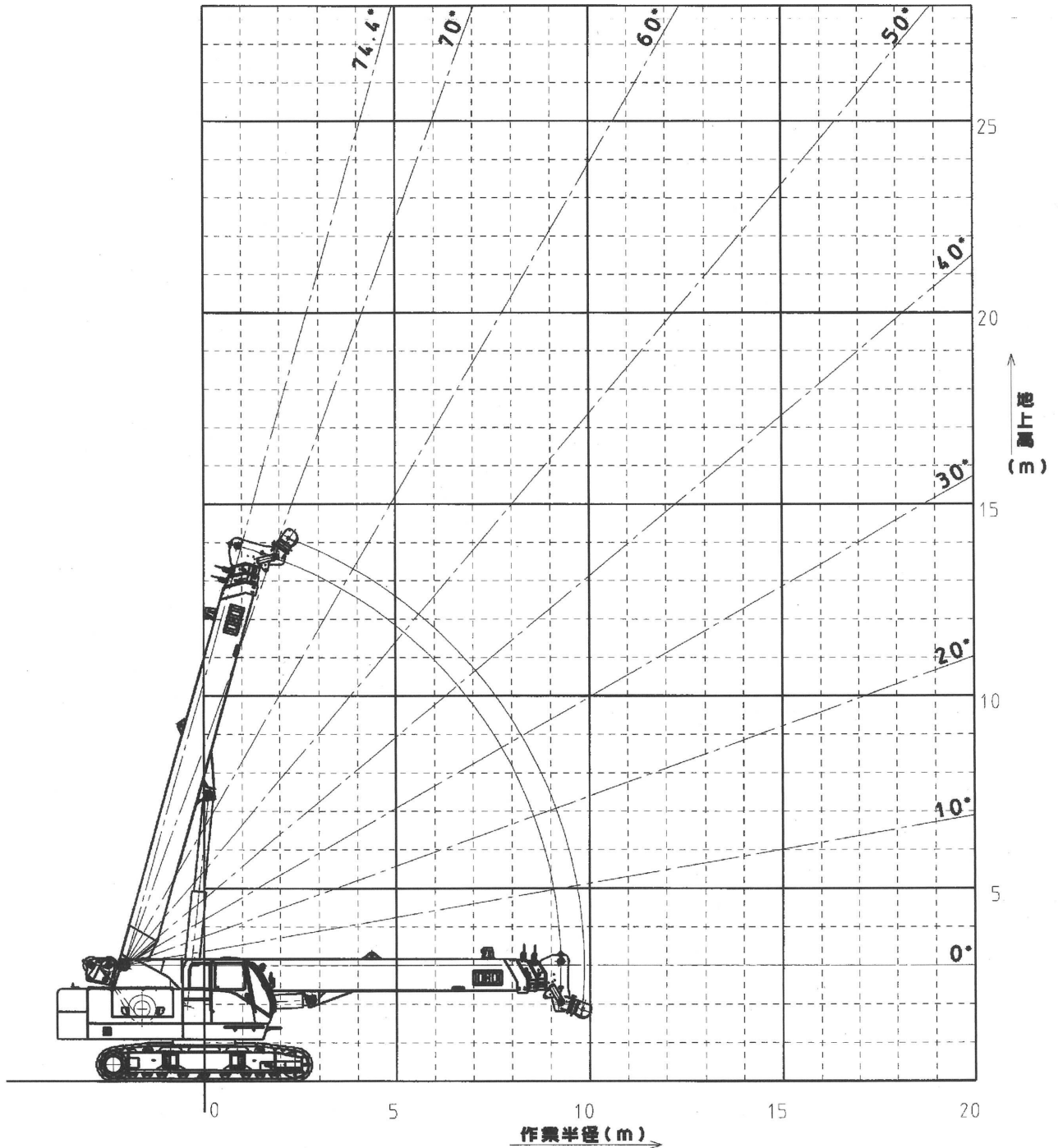
6. 主ジブは長さに於けるワイヤロープの掛数は、下表とします。

主ジブ長 (m)	11.3	19.0	26.7	34.4	トップシーブ
巻掛本数	10	6	4	4	1

主ジブ長 11.3 m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

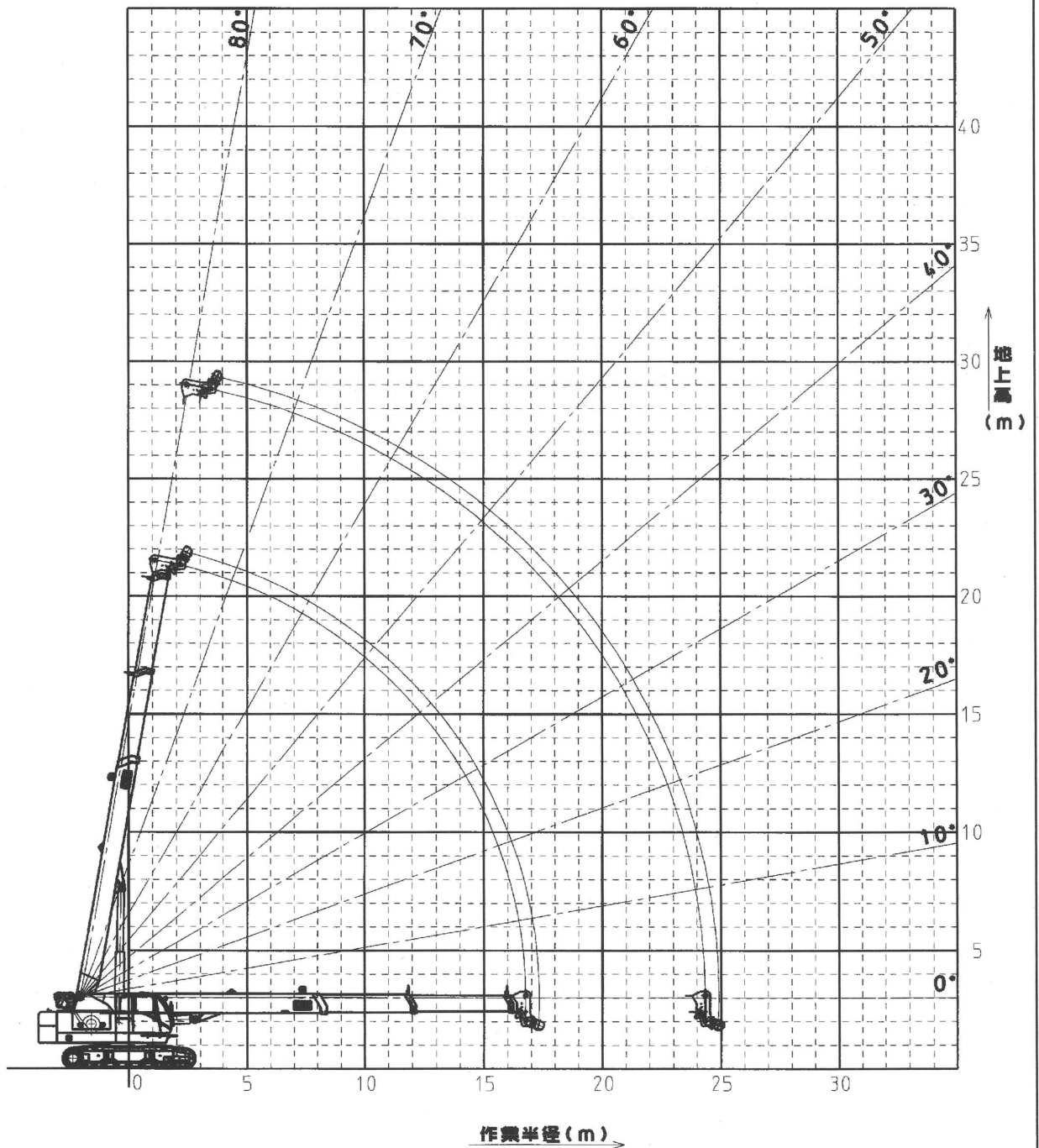
作業半径 (m)		1.9	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	8.0	9.0	10.0
定 格 総 荷 重 t	A 主ジブ作業	50.00	50.00	50.00	46.40	42.00	36.35	30.85	26.65	23.35	20.60	15.80	11.40	10.30
	B トップシブ作業	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00



主ジブ長 19.0超 m~26.7以下m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

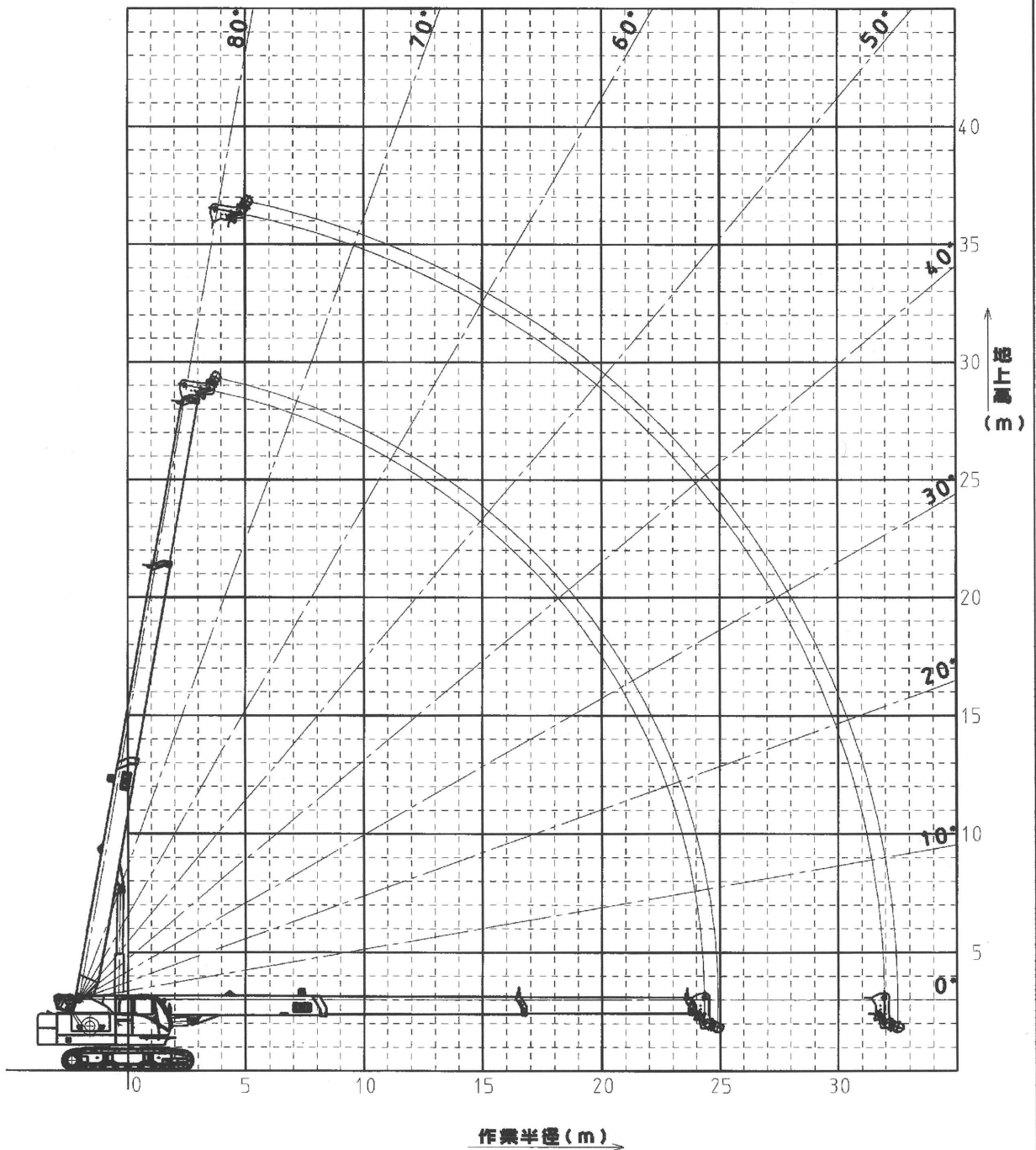
作業半径 (m)		2.2	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0	24.0	26.0
定格 総荷重 t	A 主ジブ作業	22.00	^{5.9mx} 22.00	21.70	18.95	16.15	13.75	11.55	8.50	6.40	4.95	3.70	2.70	1.85	1.15	^{24.65mx} 0.95
	B トップジブ作業	^{2.6mx} 6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	^{14.5mx} 6.00	4.95	3.70	2.70	1.85	1.15	^{25.4mx} 0.75



主ジブ長 26.7超 m~34.4以下m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

作業半径 (m)		3.55	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0	24.0	26.0	28.0	30.0
定格 総 荷 重 t	A 主ジブ作業	12.00	12.00	12.00	12.00 ^{8.7mx}	11.65	10.45	8.45	6.85	5.55	4.55	3.55	2.70	2.00	1.45	0.95	0.55
	B トップシーフ作業	6.00 ^{4.0mx}	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00 ^{15.2mx}	5.55	4.55	3.55	2.70	2.00	1.45	0.95



作成 審査 承認 年月日 歴 来	仕様書 No.	L-CR39581	Z-9442B-1															
	キャパシティプレート	D41016300D																
<h2 style="margin: 0;">CCH500T型 クローラクレーン</h2> <h3 style="margin: 0;">定格総荷重量表</h3> <p style="margin: 0;">クローラ縮小、15.7TONカウンタウエイト</p> <p style="margin: 0;">クローラフレーム ----- 縮小形 カウンタウエイト ----- 標準形</p>																		
記号 作成 審査 承認 年月日 歴 来	記号 作成 審査 承認 年月日 歴 来	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">通用</th> <th style="width: 45%;">ジブ長さ (m)</th> <th style="width: 50%;">荷重量番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>✓</td> <td>11.3m</td> <td>Z-9442B-3</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>11.3m超～19.0m以下</td> <td>Z-9442B-4</td> </tr> <tr> <td>✓</td> <td>19.0m超～26.7m以下</td> <td>Z-9442B-5</td> </tr> <tr> <td>◎</td> <td>26.7m超～34.4m以下</td> <td>Z-9442B-6</td> </tr> </tbody> </table>		通用	ジブ長さ (m)	荷重量番号	✓	11.3m	Z-9442B-3	✓	11.3m超～19.0m以下	Z-9442B-4	✓	19.0m超～26.7m以下	Z-9442B-5	◎	26.7m超～34.4m以下	Z-9442B-6
通用	ジブ長さ (m)	荷重量番号																
✓	11.3m	Z-9442B-3																
✓	11.3m超～19.0m以下	Z-9442B-4																
✓	19.0m超～26.7m以下	Z-9442B-5																
◎	26.7m超～34.4m以下	Z-9442B-6																
02.10.01 05.4.25 08.07.01		<p style="font-size: 2em; margin: 0;">削除</p> <p>(特記事項)</p> <hr/> <hr/>																
<h2 style="margin: 0;">IHI建機株式会社</h2>																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">承認 08.7.1 買田</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">審査 08.7.1 藤</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;">作成 08.7.1 野</td> </tr> </table>				承認 08.7.1 買田	審査 08.7.1 藤	作成 08.7.1 野												
承認 08.7.1 買田	審査 08.7.1 藤	作成 08.7.1 野																

ベースマシン適用号機 _____

適用ジブ 番号 _____

注意事項

1. 定格総荷重は機械を水平堅土上に於ける転倒荷重の78%以内の値です。
2. 実際に巻上げ得る荷重は、各表の値からフックブロック等の吊具の質量を差引いた値です。

50tフック	490kg
30tフック	340kg
25tフック	320kg
15tフック	300kg
10tフック	430kg
6.0tフック	120kg
サルカンフック(6t)	110kg
サルカンフック(6t)	100kg
サルカンフック(6t)	60kg

3. 荷重は、ワイヤロープの掛数によって下記の如く制限されます。

6.0 tまで	-----	1 条掛	30.0 tまで	-----	6 条掛
12.0 tまで	-----	2 条掛	35.0 tまで	-----	7 条掛
16.5 tまで	-----	3 条掛	40.0 tまで	-----	8 条掛
22.0 tまで	-----	4 条掛	45.0 tまで	-----	9 条掛
25.0 tまで	-----	5 条掛	50.0 tまで	-----	10 条掛

4. ワイヤロープは「ワイヤロープ構成と安全率」の項を参照下さい。

5. トップシーブの定格総荷重は、次の様に決定して下さい。

- ・主ジブの長さと同じの値とします。但し、最大吊上荷重は6tを越えてはなりません。
- ・作業半径は、トップシーブの作業半径とします。
- ・主、補フックを装着し主、補いずれかで作業する時の実際に吊上げ得る荷重は、主、補フックの合計質量を差引いた値です。

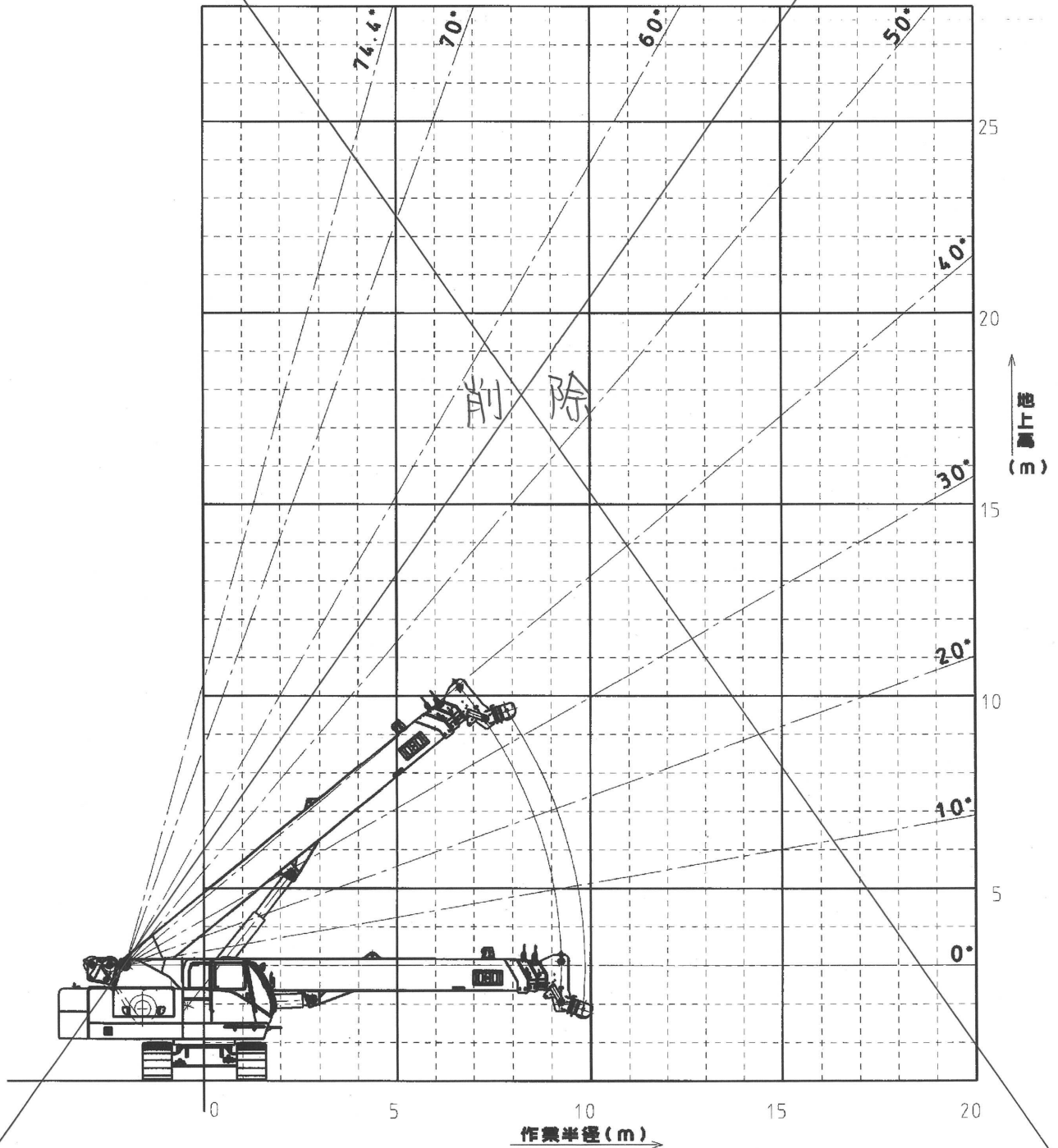
6. 主ジブは長さに於けるワイヤロープの掛数は、下表とします。

主ジブ長 (m)	11.3	19.0	26.7	34.4	トップシーブ
巻掛本数	10	6	4	4	1

主ジブ長 11.3 m クローラ縮小、15.7TONカウンタウエイト

単位: ton

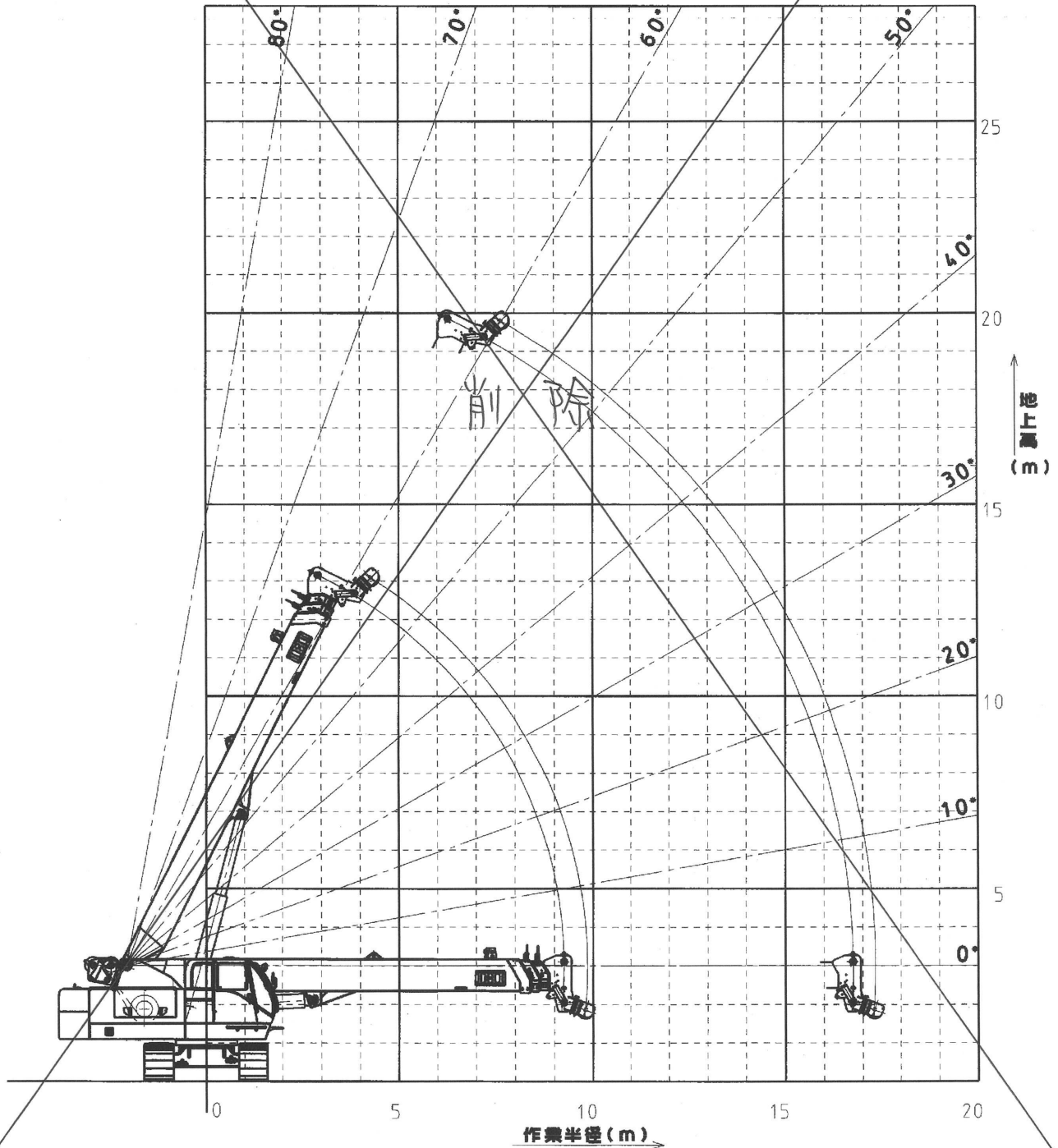
作業半径 (r)		7.3	8.0	9.0	10.0
A	主ジブ作業	12.00	12.00	9.95 ^{9.25mx}	9.50
	トップジブ作業	6.00 ^{6.0mx}	6.00	6.00	6.00 ^{10.0mx}
B					
C					
D					
E					
F					
G					
H					
I					
J					
K					
L					
M					
N					
O					
P					
Q					
R					
S					
T					
U					
V					
W					
X					
Y					
Z					



主ジブ長 11.3起 m~19.0以下m クローラ縮小、15.7TONカウンタウエイト

単位: ton

作業半径 (m)		7.3	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0
A	主ジブ作業	12.00	12.00	9.85	8.25	5.95	4.30	2.95	2.40
	トップシブ作業	6.00	6.00	6.00	6.00	5.95	4.30	2.95	2.00



CCH500T クローラ クレーン 定格総荷重表

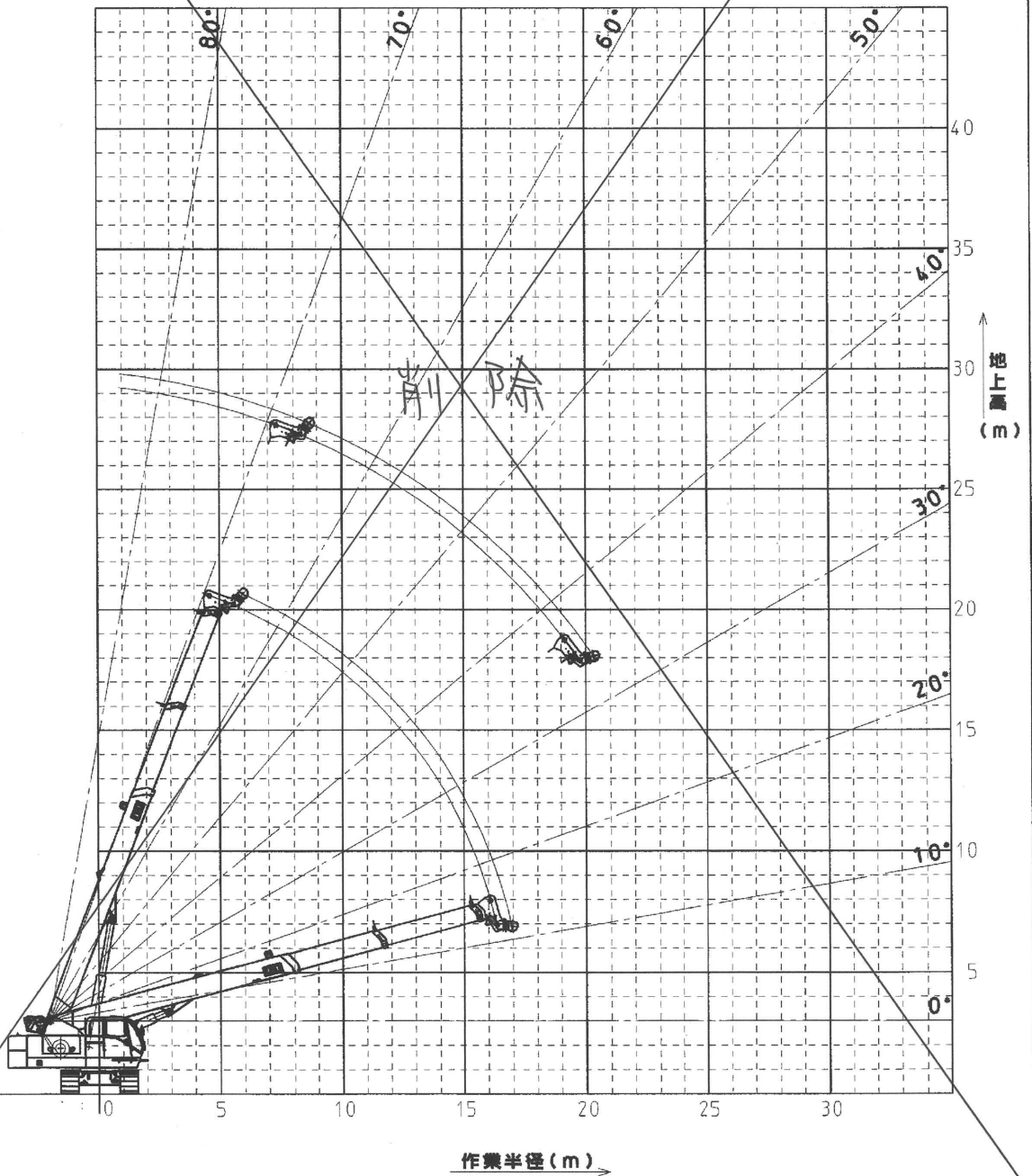
Z-9442B-s

主シブ長 19.0超 m~26.7以下m クローラ縮小、15.7TONカウンタウエイト

単位: ton

作業半径 (m)		8.4	8.9	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0
A	主シブ作業	10.00	10.00	9.85	8.20	5.90	4.25	2.90	1.85	1.05
	トップシブ作業	7.9mx 6.00	6.00	6.00	11.8mx 6.00	5.90	4.25	2.90	1.85	1.05
B	トップシブ作業	6.00	6.00	6.00	6.00	5.90	4.25	2.90	1.85	1.05

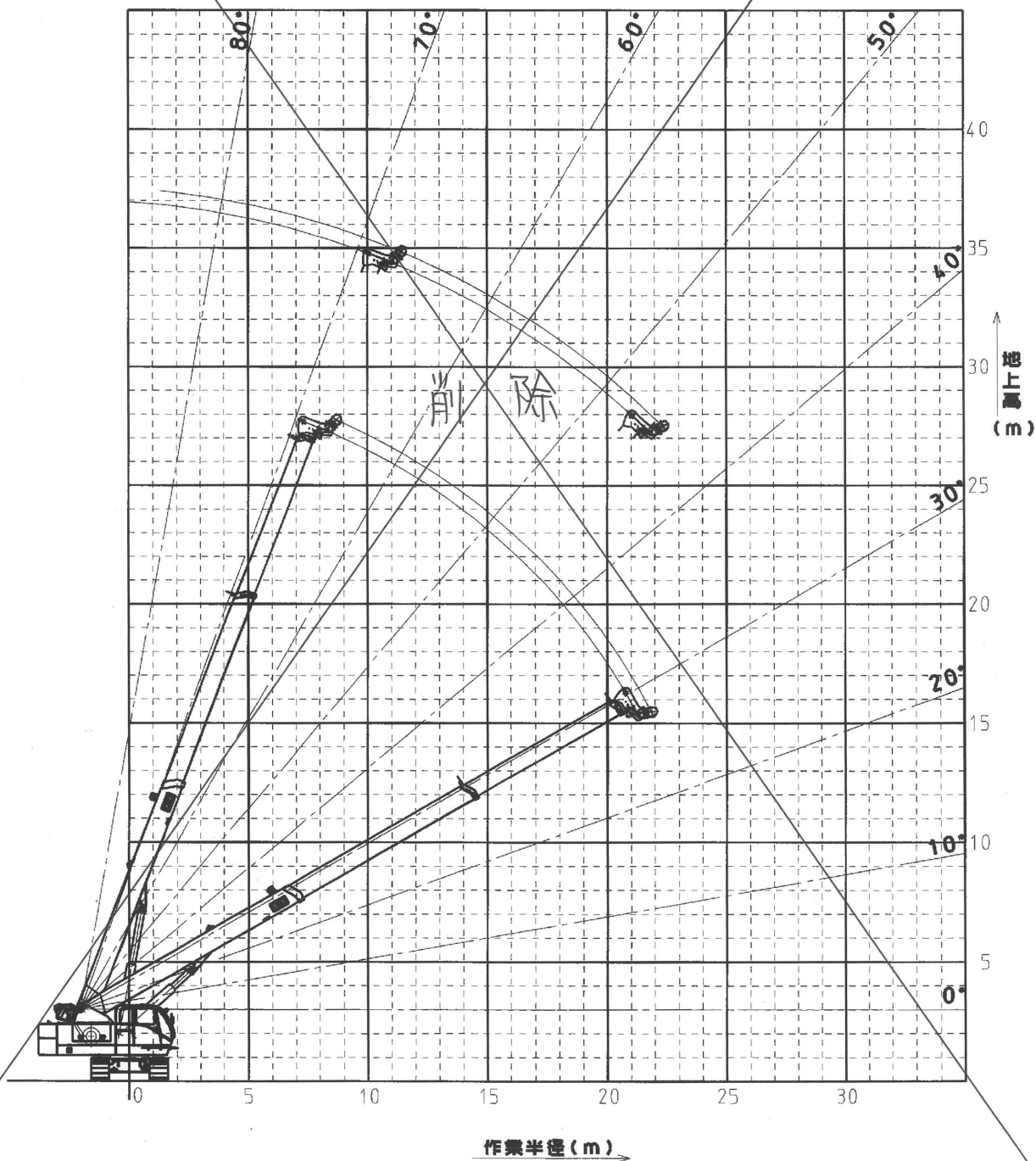
定格総荷重
t



主ジブ長 26.7超 m~34.4以下m クローラ縮小、15.7TONカウンタウェイト

単位: t

作業半径 (m)		11.2	13.0	15.0	17.0	19.0	21.0	23.0	25.0	27.0	29.0	31.0	33.0
定格 総荷 重 t	A 主ジブ作業	7.00	7.00	6.65	5.00	3.75	2.75	1.90	1.24				
	B トップシブ作業	9.0m× 6.00	6.00	12.7m× 6.00	5.00	3.75	2.75	1.90	1.24				



記号	来歴	年月日	承認	調査	作成
A	CCH500T-5にて作成	02.10.01	小俣	古橋	石川
B	ブック追加	05.4.25	野	野	野
	社名変更	08.07.01	野	野	野

仕様書 No.	L-CR39581
キャパシティプレート	D41016500D

Z-9444B-1

CCH500T型 クローラクレーン

定格総荷重表

走行吊、クローラ張出15.7TONカウンタウエイト

クローラフレーム ----- 標準形
 カウンタウエイト ----- 標準形

適用	ジブ長さ (m)	荷重表番号
✓	11.3m	Z-9444B-3
✓	11.3m超～19.0m以下	Z-9444B-4
◎	19.0m超～26.7m以下	Z-9444B-5

(特記事項) _____

IHI建機株式会社



ベースマシン適用号機 _____

適用ジブ 番号 _____

注意事項

1. 定格総荷重は水平堅土上に於ける走行時の値です。
 走行路面の状況は突起高さが20mm以内とします。
 上部旋回体の向きはフローラの前後方向にしてください。
 走行速度は最微速で行なってください。
 荷の高さは地上0.5m以下としてください。

2. 実際に巻上げ得る荷重は、各表の値からフックブロック等の吊具の質量を差し引いた値です。

50tフック	490kg
30tフック	340kg
25tフック	320kg
15tフック	300kg
10tフック	430kg
6.0tフック	120kg
サルカンフック(6t)	110kg
サルカンフック(6t)	100kg
サルカンフック(6t)	60kg

3. 荷重は、ワイヤロープの掛数によって下記の如く制限されます。

6.0 tまで	-----	1 条掛	30.0 tまで	-----	6 条掛
12.0 tまで	-----	2 条掛	35.0 tまで	-----	7 条掛
16.5 tまで	-----	3 条掛	40.0 tまで	-----	8 条掛
22.0 tまで	-----	4 条掛	45.0 tまで	-----	9 条掛
25.0 tまで	-----	5 条掛	50.0 tまで	-----	10 条掛

4. ワイヤロープは「ワイヤロープ構成と安全率」の項を参照下さい。

5. トップシーブの定格総荷重は、次の様に決定して下さい。

- ・主ジブの長さと同じの値とします。但し、最大吊上荷重は6tを越えてはなりません。
- ・作業半径は、トップシーブの作業半径とします。
- ・主・補フックを装着し主・補いずれかで作業する時の実際に吊上げ得る荷重は、主・補フックの合計質量を差し引いた値です。

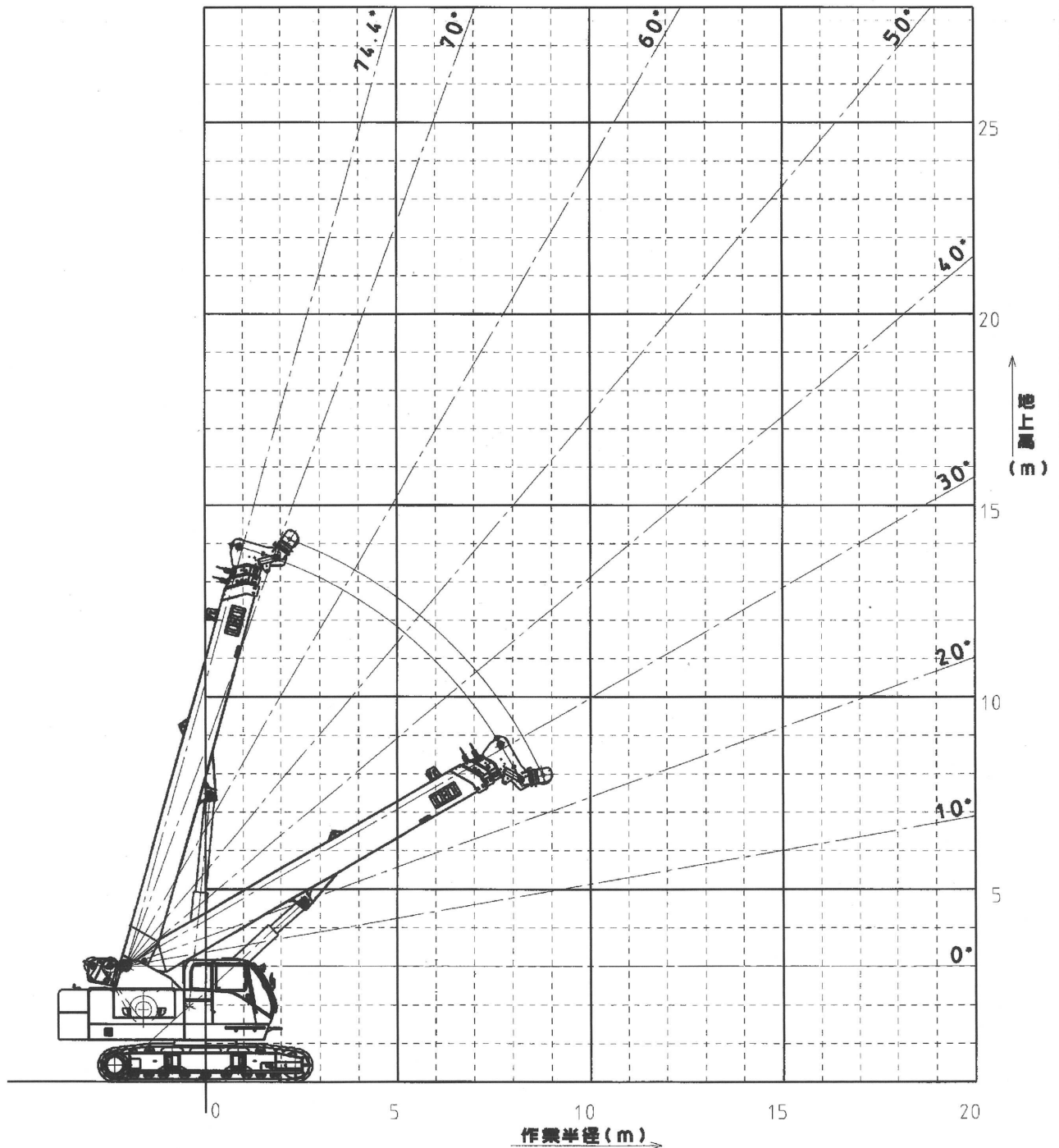
6. 主ジブは長さに於けるワイヤロープの掛数は、下表とします。

主ジブ長 (m)	11.3	19.0	26.7	トップシーブ
巻掛本数	10	6	4	1

主ジブ長 11.3 m 走行吊、クローラ張出 15.7TONカウンタウェイト

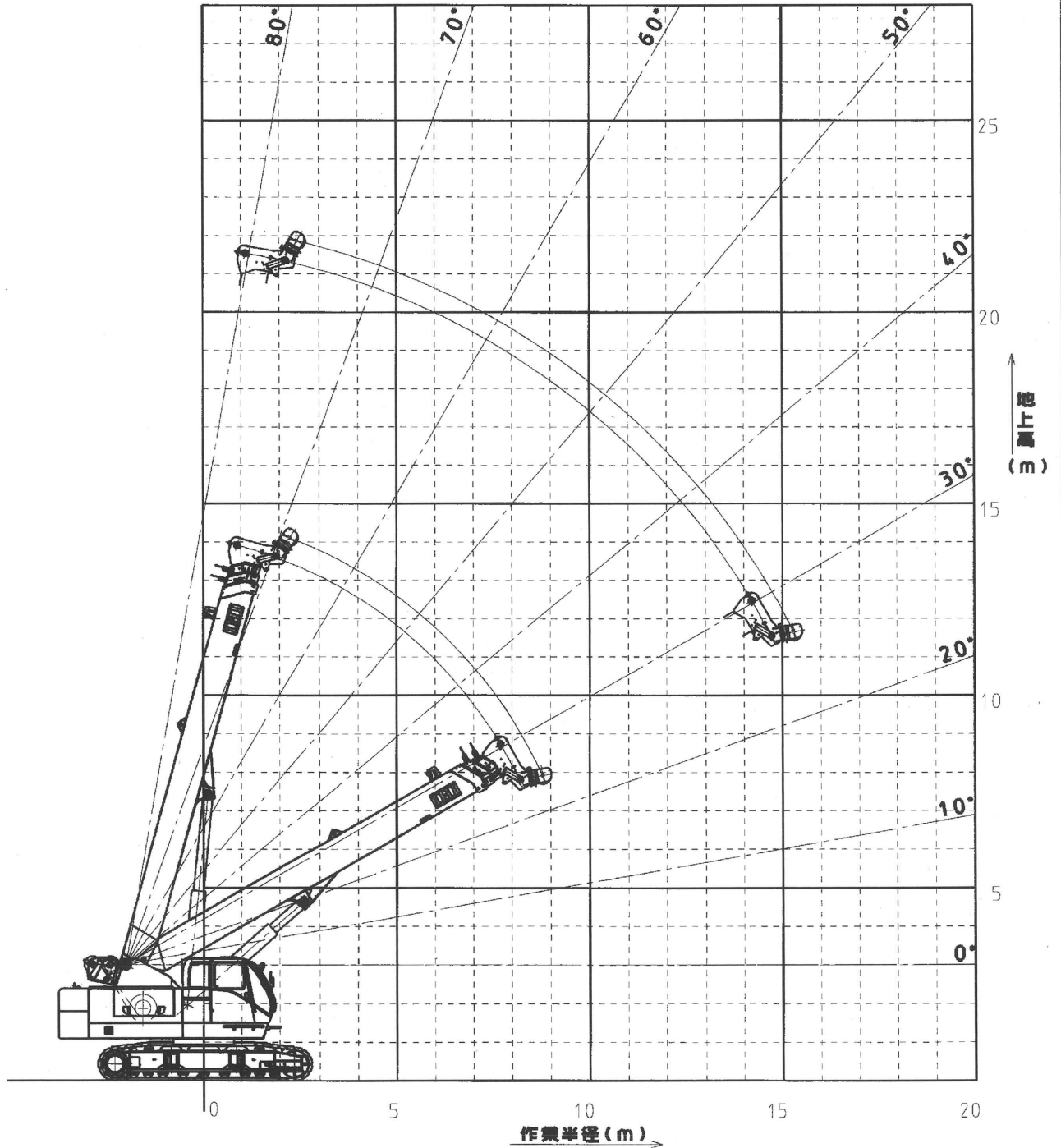
単位: ton

作業半径 (m)		1.9	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	8.0	9.0
定格総荷重 t	A 主ジブ作業	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00	23.35 ^{6.2mx}	20.60	15.80	14.85 ^{8.20mx}
	B トップシープ作業	6.00 ^{2.4mx}	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00



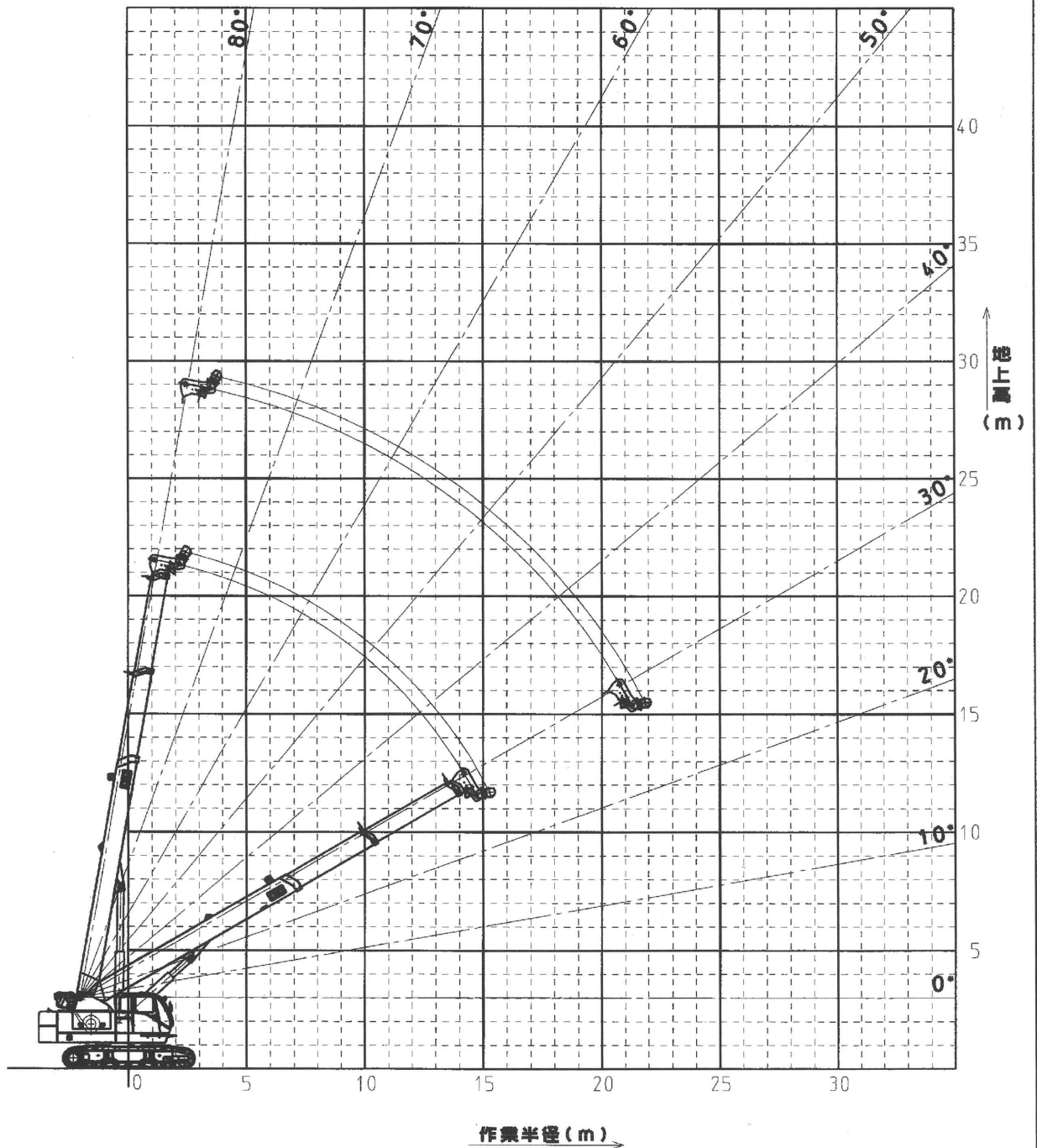
主ジブ長 11.3起 m~19.0以下m 走行吊、クローラ張出15.7TONカウンタウエイト
単位: ton

作業半径 (m)		1.9	4.0	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0
定格 総荷 重 t	A 主ジブ作業	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00 ^{8.50mx}	13.70	11.45	8.30	6.15	5.40 ^{14.90mx}
	B トップシブ作業	6.00 ^{2.4mx}	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00 ^{14.1mx}	4.85 ^{15.64mx}



主ジブ長 19.0超 m~26.7以下m 走行吊、クローラ張出 15.7TONカウンタウエイト
単位: ton

作業半径 (m)		7.2	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0
A	主ジブ作業	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00	11.00 ^{10.2mx}	8.25	6.10	4.55	3.40	2.50	1.95 ^{21.55mx}
	トップシブ作業	6.00 ^{2.6mx}	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00 ^{14.1mx}	4.55	3.40	2.50	1.70 ^{22.3mx}
B														



記号 A B
 記号 CWT無仕様にて新規作成
 来歴
 年月日 11.02.09
 承認 重田
 審査 小山
 作成 尾崎
 記号 C D E
 来歴
 年月日
 承認
 審査
 作成

仕様書 No.	L-CR39581
キャパシティプレート	D41042500D

Z-10039-1

CCH500T型 クローラクレーン

定格総荷重表

クローラ張出、カウンタウエイト無

クローラフレーム ----- 標準形
 カウンタウエイト ----- 無

適用	ジブ長さ (m)	荷重表番号
✓	11.3m	Z-10039-3
◎	11.3m超～19.0m以下	Z-10039-4

(特記事項) _____

IHI建機株式会社



ベースマシン適用台機 _____

適用ジブ 番号 _____

注意事項

1. 定格総荷重は機械を水平堅土上に於ける転倒荷重の78%以内の値です。
2. 実際に巻上げ得る荷重は、各表の値からフックブロック等の吊具の質量を差引いた値です。

50.0tフック	490kg
30.0tフック	340kg
25.0tフック	320kg
15.0tフック	300kg
10.0tフック	430kg
6.0tフック	120kg
サルカンフック(6.0t)	110kg
サルカンフック(6.0t)	100kg
サルカンフック(6.0t)	60kg

3. 荷重は、ワイヤロープの掛数によって下記の如く制限されます。

6.0	tまで	-----	1	条掛
12.0	tまで	-----	2	条掛
16.5	tまで	-----	3	条掛
22.0	tまで	-----	4	条掛
25.0	tまで	-----	5	条掛

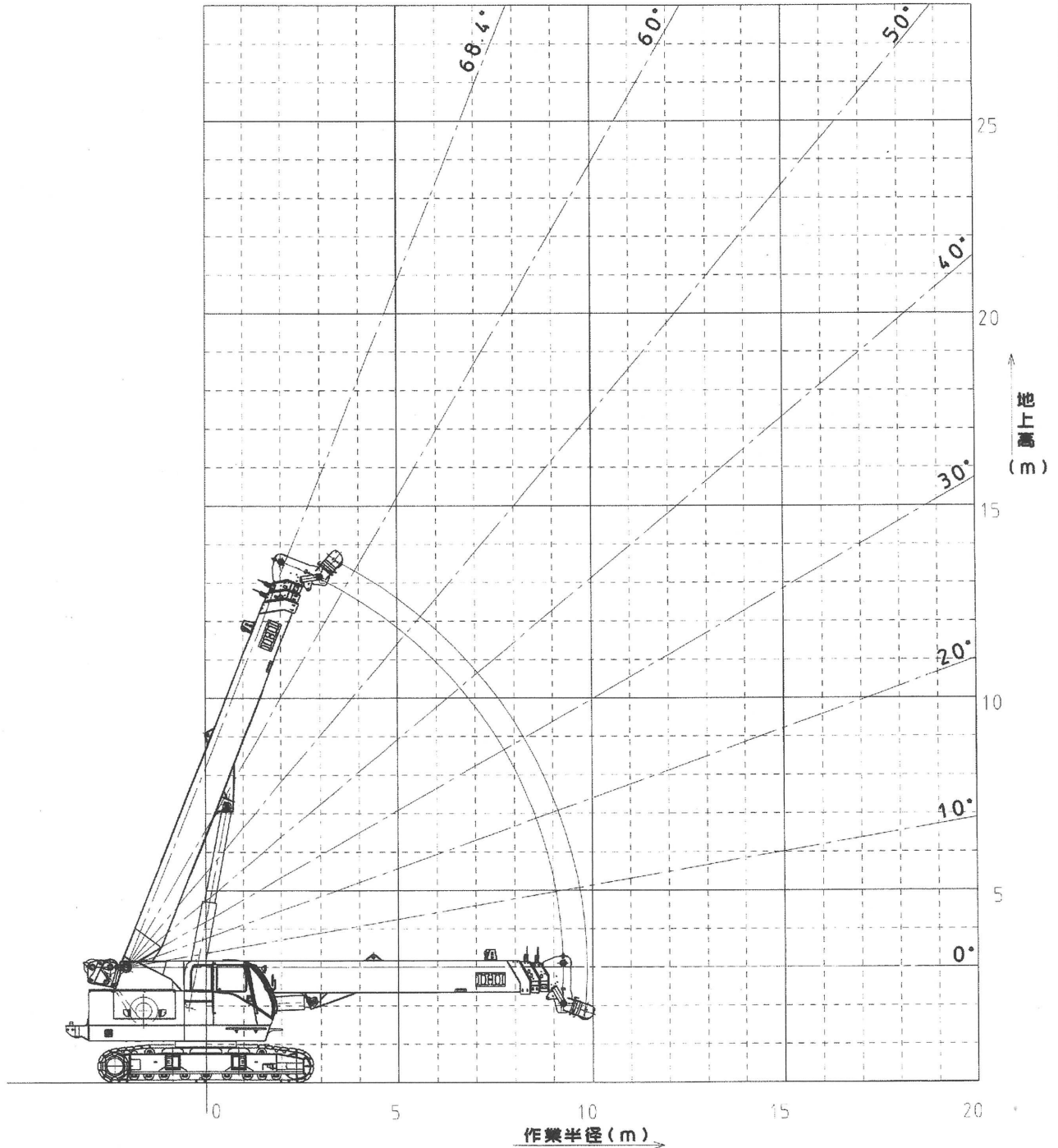
4. ワイヤロープは「ワイヤロープ構成と安全率」の項を参照下さい。
5. トップシーブの定格総荷重は、次の様に決定して下さい。
 - ・主ジブの長さと同じの値とします。但し、最大吊上荷重は6tを越えてはなりません。
 - ・作業半径は、トップシーブの作業半径とします。
 - ・主、補フックを装着し主、補いずれかで作業する時の実際に吊上げ得る荷重は、主、補フックの合計質量を差し引いた値です。
6. 主ジブは長さに於けるワイヤロープの掛数は、下表とします。

主ジブ長 (m)	11.3	19.0	トップシーブ
巻掛本数	5	4	1

主ジブ長 11.3 m クローラ張出、カウンタウェイト無し

単位: ton

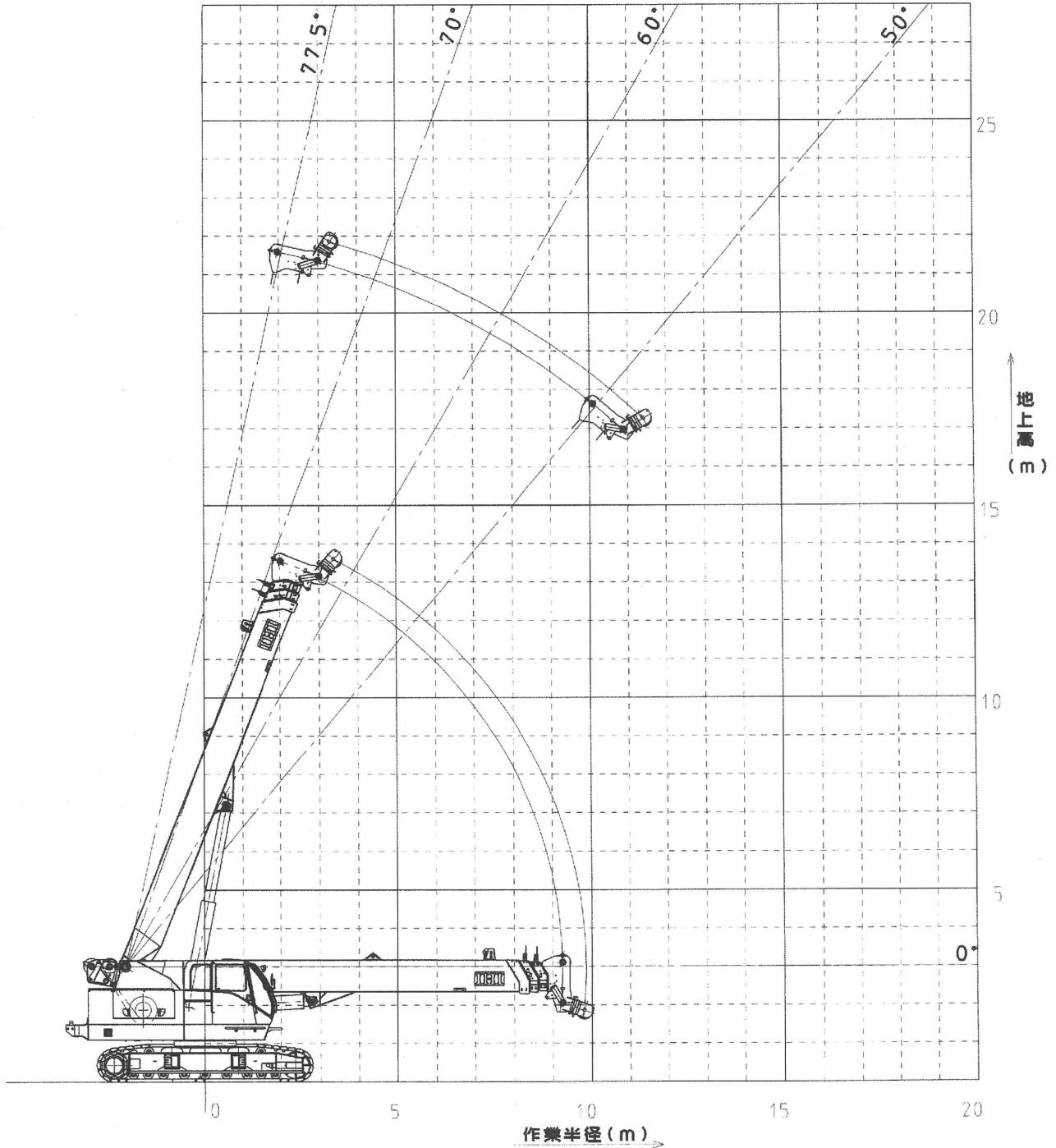
作業半径 (m)		3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	8.0	9.0	10.0
定格 総 荷 重	A 主ジブ作業	25.00	25.00	21.40	16.75	13.60	11.30	9.55	8.20	7.10	5.40	4.20	3.95 ^{9.25mx}
	B トップシープ作業	6.00 ^{3.76mx}	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00 ^{7.61mx}	5.40	4.20	3.95 ^{10.00mx}
て													



主ジブ長 11.3超 m~19.0以下mクローラ張出、カウンタウエイト無し

単位: ton

作業半径 (m)		3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0
定格 総 荷 重	A 主ジブ作業	20.00	20.00	20.00	16.65	13.50	11.20	9.45	8.10	7.00	5.35	4.15	3.20	2.45 ^{10.9mx}
	B トップシープ作業	6.00 ^{3.19mx}	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00 ^{7.56mx}	5.35	4.15	3.20	2.45 ^{10.9mx}
t														



配号 A
 来 CCH500T-5にて作成
 社名変更
 歴
 年月日 05.12.12
 承認 小保 貴田
 留査 買田 有隆
 作成 川村 吉野
 記号 C D
 来
 年月日
 承認
 留査
 歴
 年月日
 承認
 留査
 作成

仕様書 No. _____
 キャパシティブレート _____
 Z-9737A-1

CCH500T型 クローラクレーン

定格総荷重表

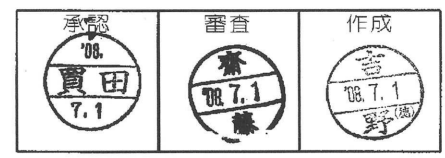
クローラ張出、15.7TONカウンタウエイト

クローラフレーム ----- 標準形
 カウンタウエイト ----- 標準形

適用	ジブ長さ (m)	荷重表番号
✓	11.3m	Z-9737A-3
✓	11.3m超～19.0m以下	Z-9737A-4
✓	19.0m超～26.7m以下	Z-9737A-5
◎	26.7m超～34.4m以下	Z-9737A-6

(特記事項)

IHI建機株式会社



ベースマシン適用号機 _____
 適用ジブ 番号 _____

注意事項

1. 定格総荷重は機械を水平堅土上に於ける転倒荷重の78%以内の値です。
2. 実際に巻上げ得る荷重は、各表の値からフックブロック等の吊具の質量を差引いた値です。

50tフック	490kg
30tフック	340kg
25tフック	320kg
15tフック	300kg
10tフック	430kg
6.0tフック	120kg
サルカンフック(6t)	110kg
サルカンフック(6t)	100kg
サルカンフック(6t)	60kg

3. 荷重は、ワイヤロープの掛数によって下記の如く制限されます。

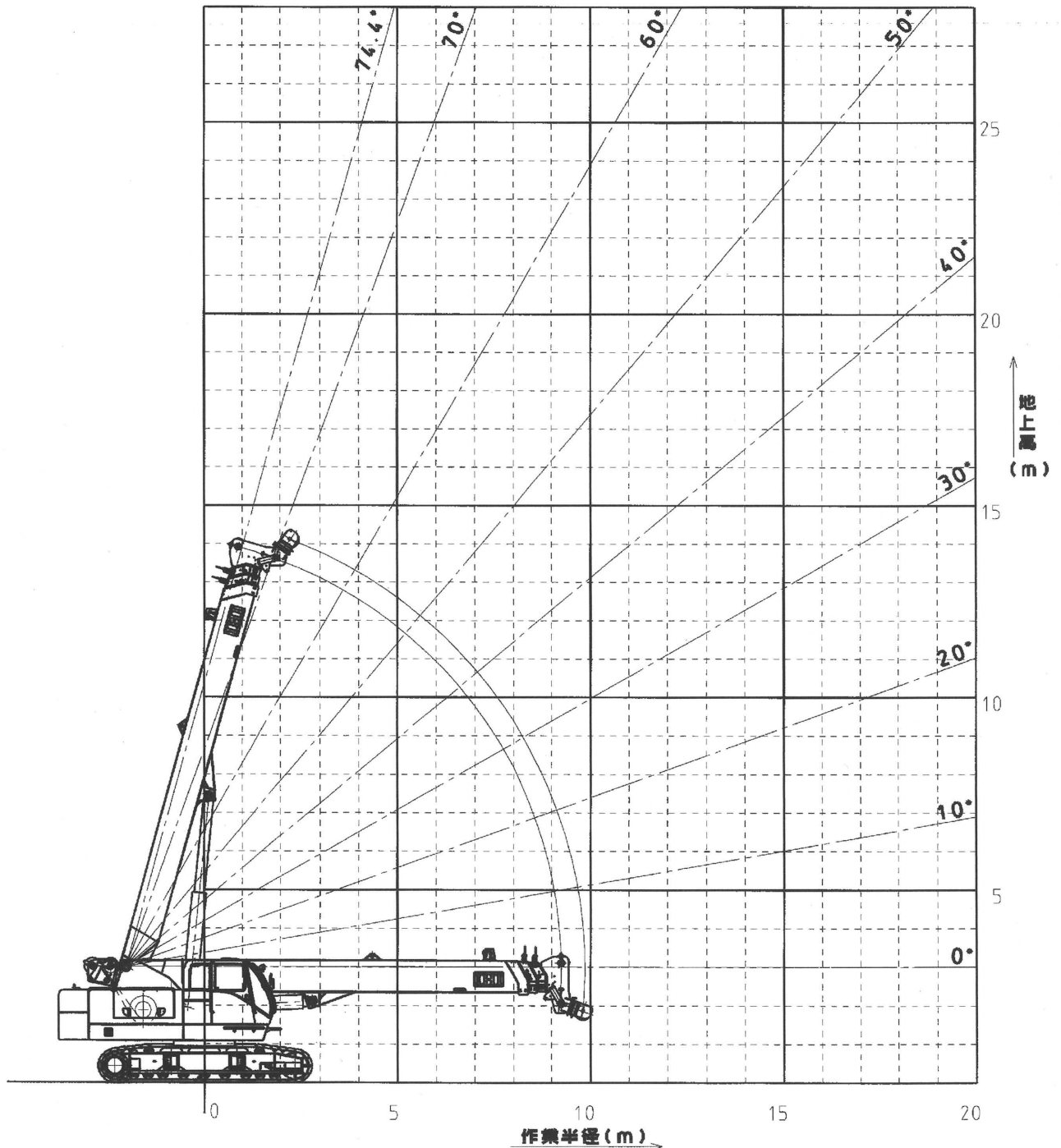
5.0	tまで	-----	1	条掛
10.0	tまで	-----	2	条掛
15.0	tまで	-----	3	条掛
20.0	tまで	-----	4	条掛
25.0	tまで	-----	5	条掛
30.0	tまで	-----	6	条掛

4. ワイヤロープは「ワイヤロープ構成と安全率」の項を参照下さい。

主ジブ長 11.3 m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

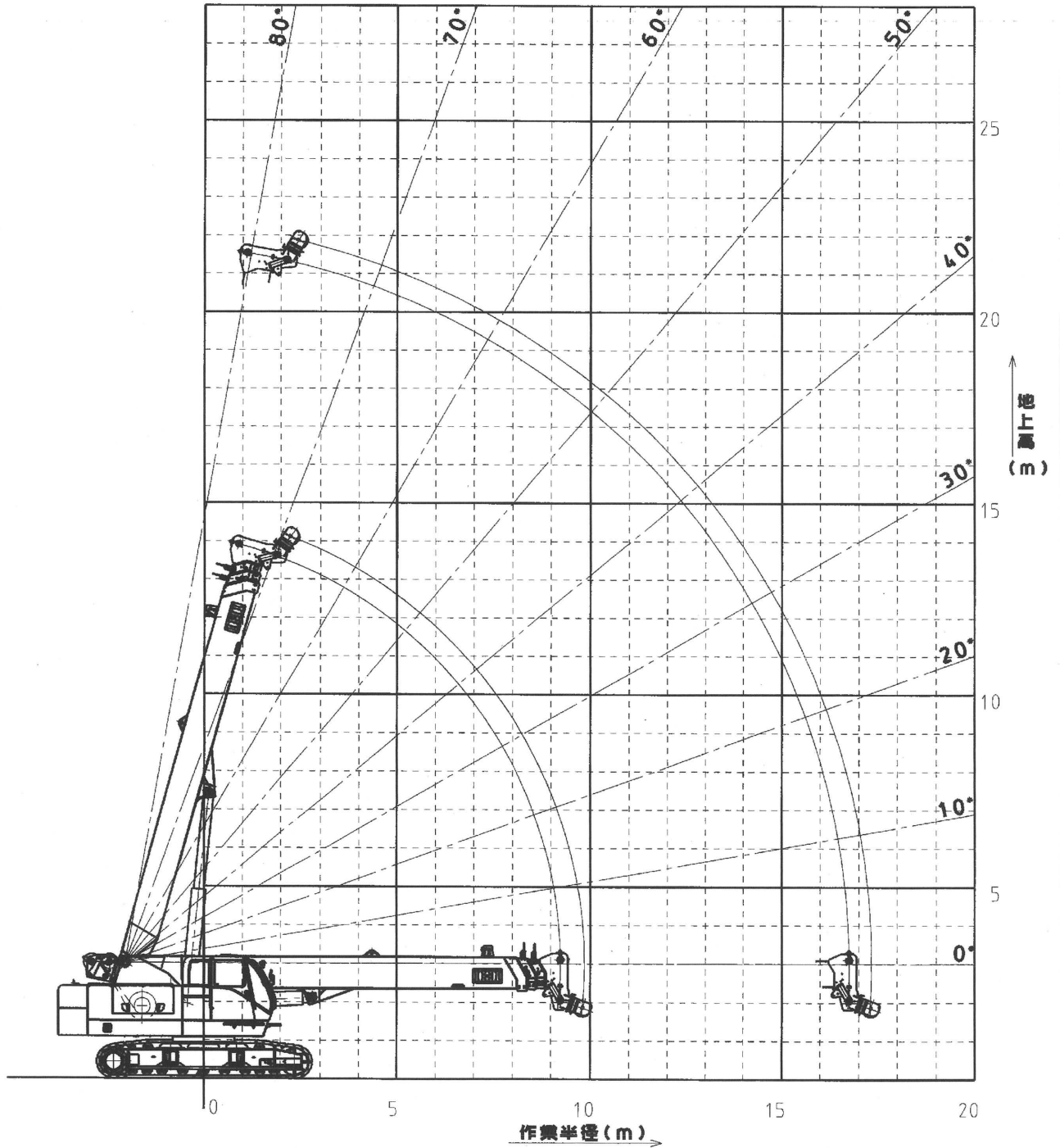
作業半径 (m)		1.9	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	8.0	9.0	10.0
定格 総荷 重 t	A 主ジブ作業	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	26.65	23.35	20.60	15.80	11.40	10.30



主ジブ長 11.3起 m~19.0以下m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

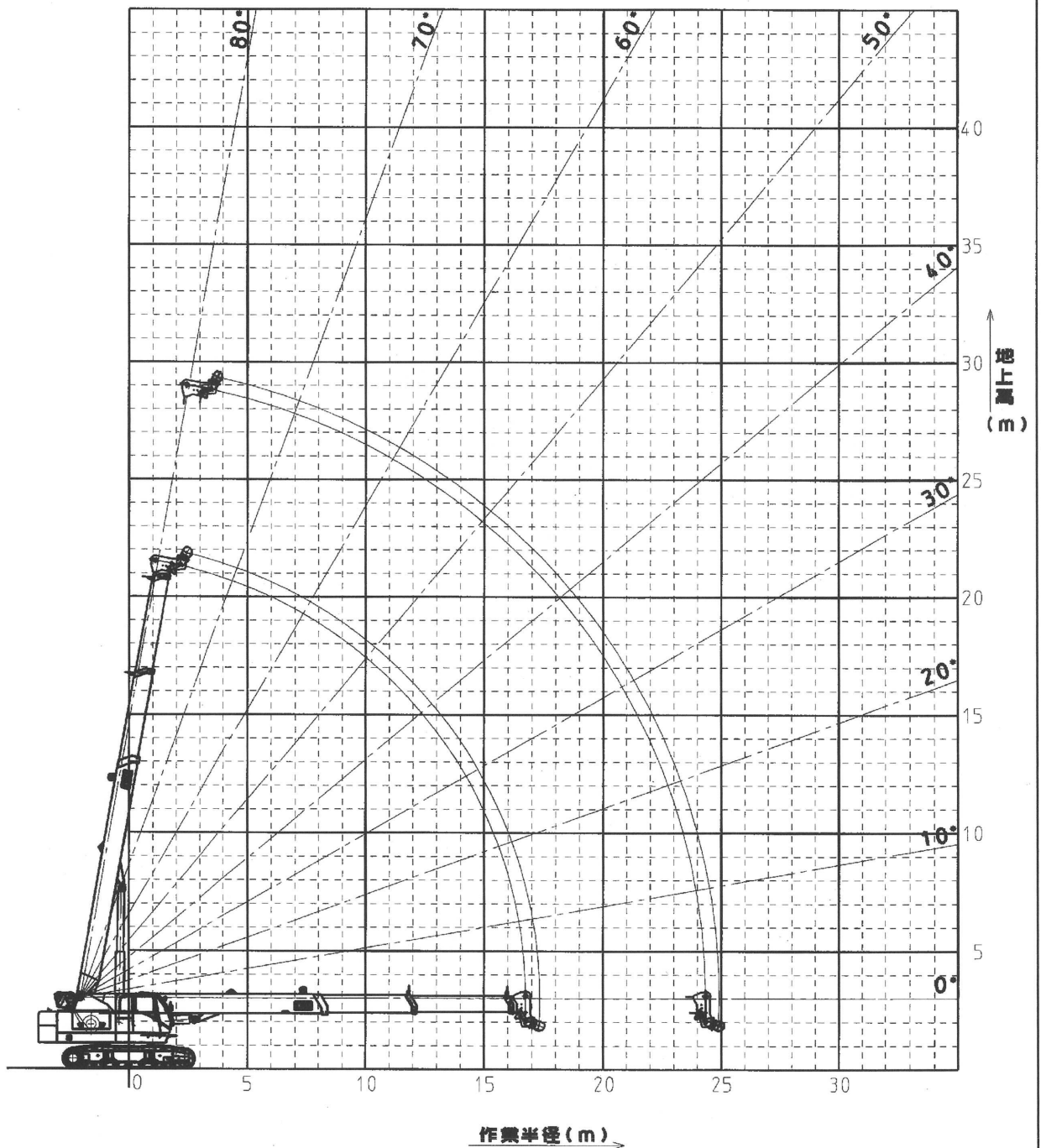
作業半径 (m)		1.9	4.0	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0
定 格 総 荷 重 t	A 主ジブ作業	33.00	30.00	30.00	26.60	20.65	16.60	13.75	11.55	8.50	6.40	4.85	4.10



主ジブ長 19.0超 m~26.7以下m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

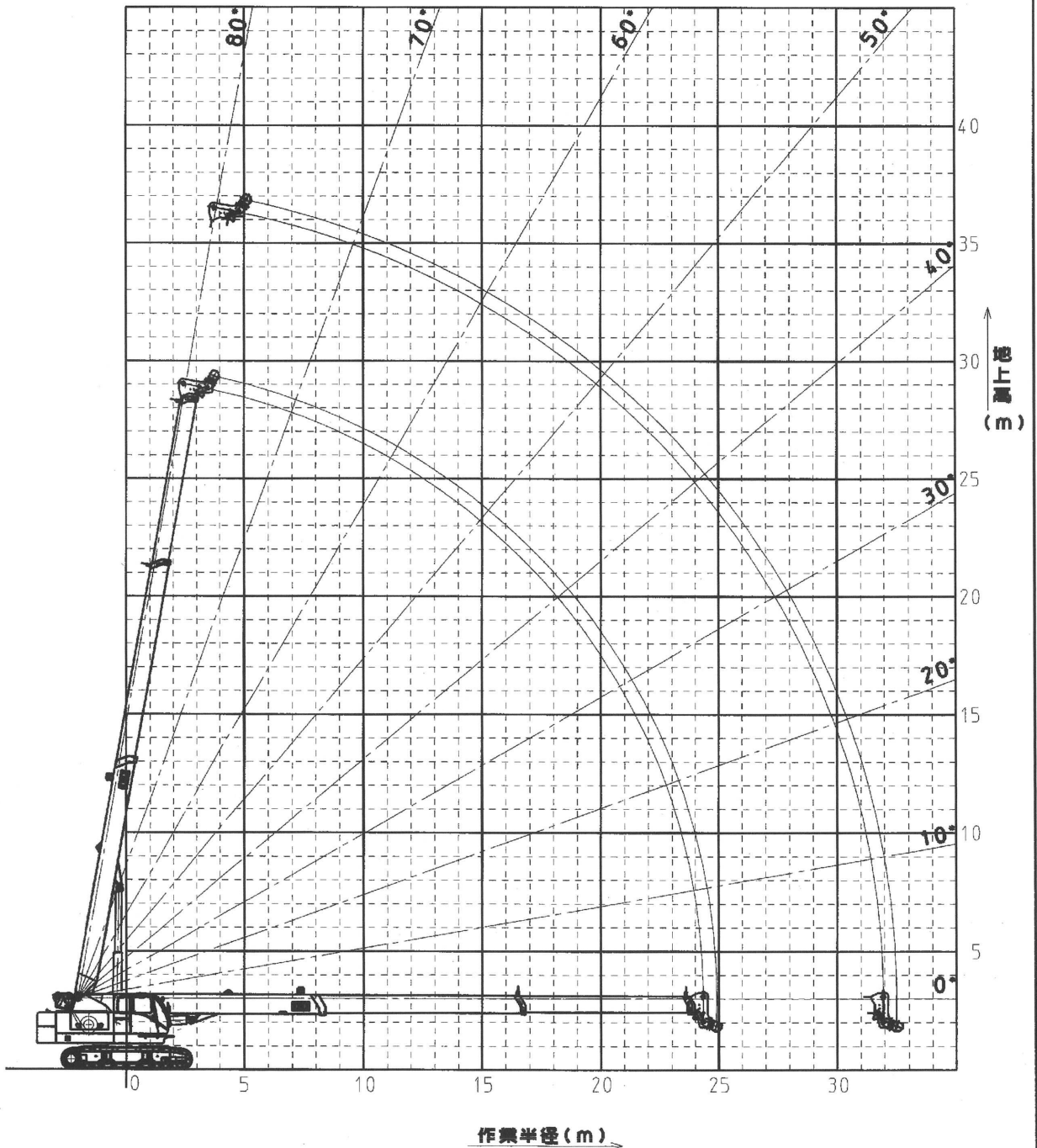
作業半径 (m)		2.2	5.5	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0	24.0	26.0
定格 総 荷 重 t	A 主ジブ作業	22.00	22.00 ^{5.9mx}	21.70	18.95	16.15	13.75	11.55	8.50	6.40	4.95	3.70	2.70	1.85	1.15	0.95 ^{24.85mx}



主ジブ長 26.7起 m~34.4以下m クローラ張出、15.7TONカウンタウェイト

単位: ton

作業半径 (m)		3.55	6.0	7.0	8.0	9.0	10.0	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0	22.0	24.0	26.0	28.0	30.0
定 格 総 荷 重 t	A 主ジブ作業	12.00	12.00	12.00	12.00 ^{8.7m}	11.65	10.45	8.45	6.85	5.55	4.55	3.55	2.70	2.00	1.45	0.95	0.55

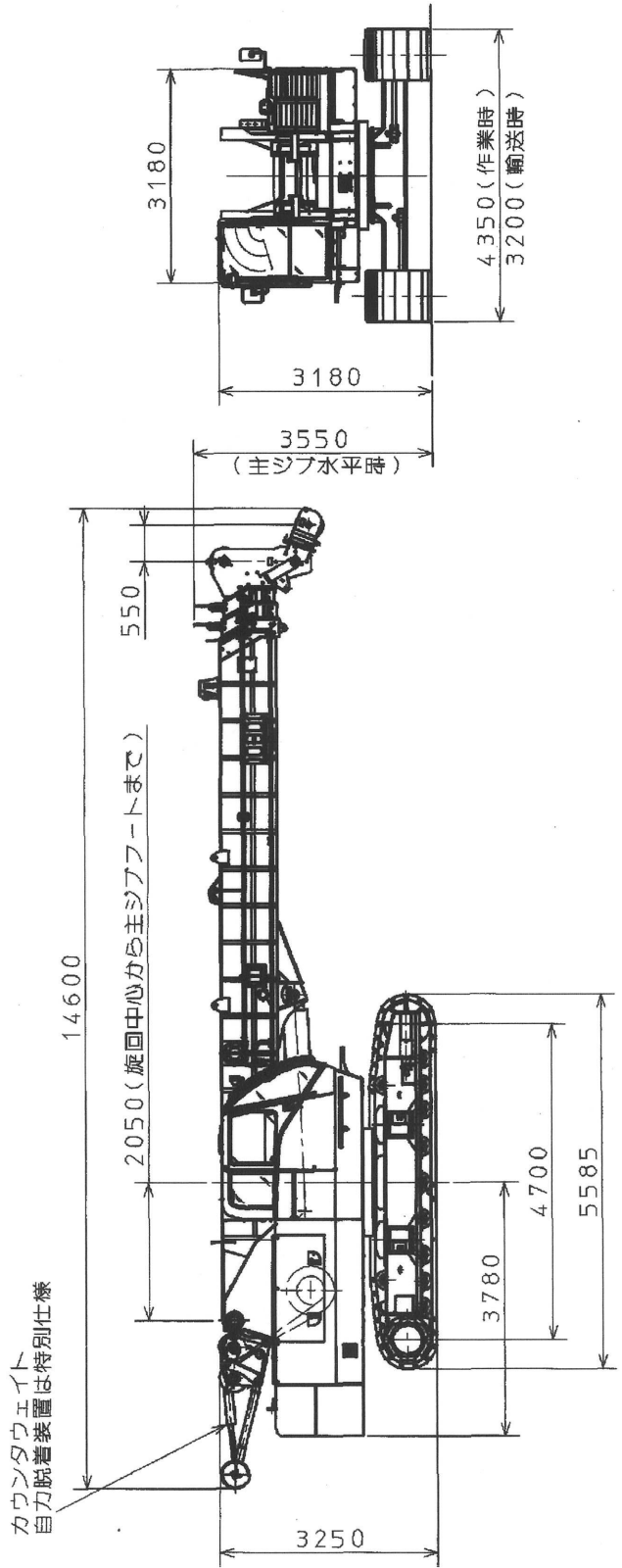
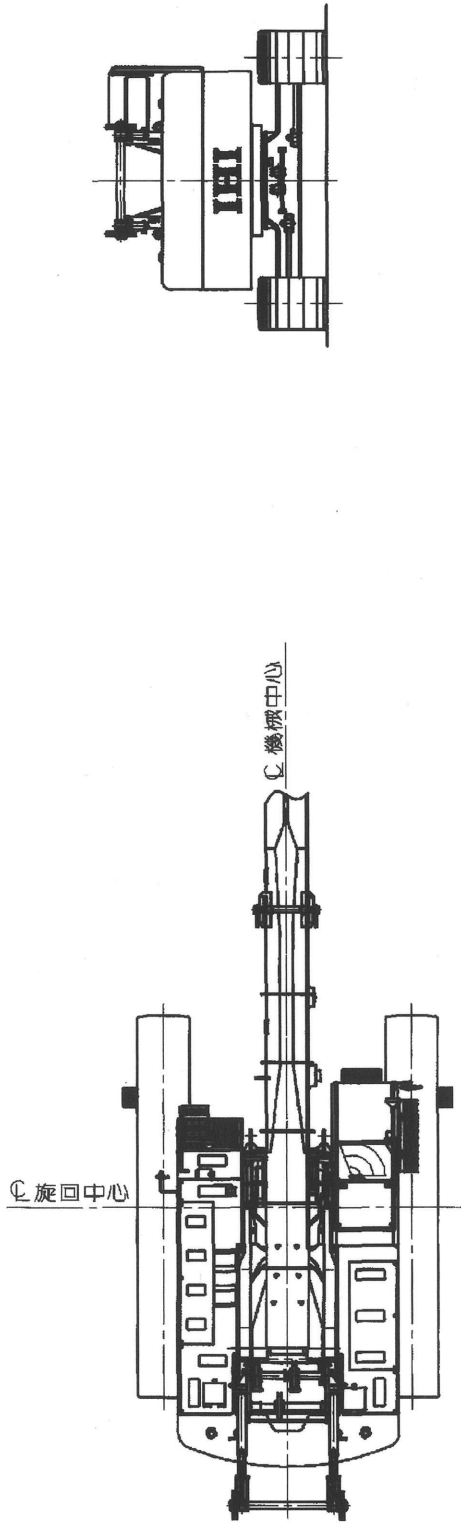


CCH500T

全体組立図 (15.7tカウンタウエイト、クローラ張出)

Z-9445A

記号	来歴	年月日	承認	作成	記号	来歴	年月日	担当
A	CCH500T-5にて作成	02.05.20	古橋	C				
B	伝CR-CCH500T-5-1440により改訂	09.07.24	長田	D				
			坂本	E				

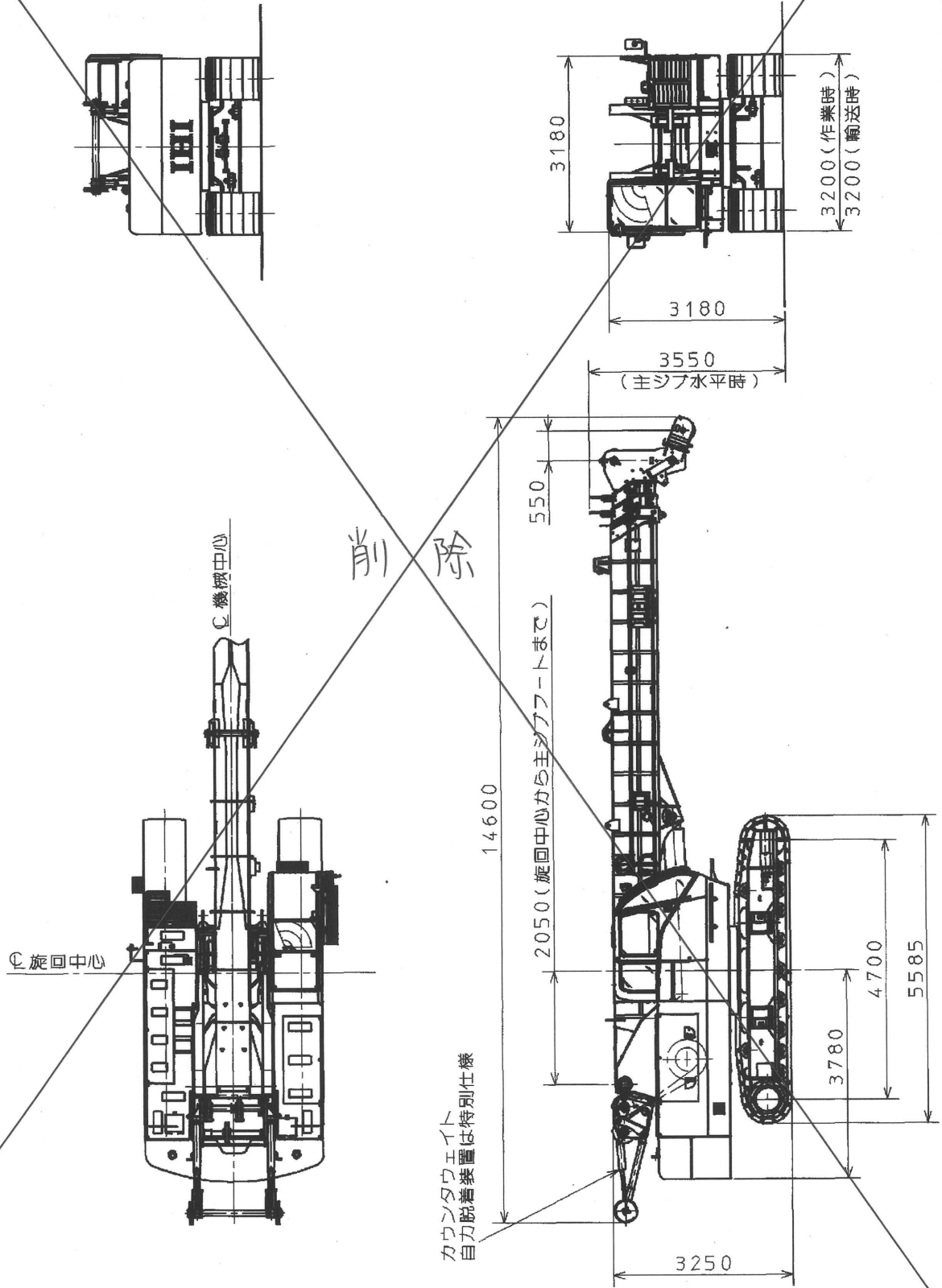


CCH500T

全体組立図(15.7tカウンタウェイト、クローラ槽小)

Z-9480A

品号	来	歴	年	月	日	承	認	査	作	成	記	号	歴	年	月	日	担	当
A	CCH500T-5にて作成		02	10	02	石川	C											
B	A 伝SR-CCH500T-5-1440により改訂		09	07	24	賀田	D											
						坂本	E											

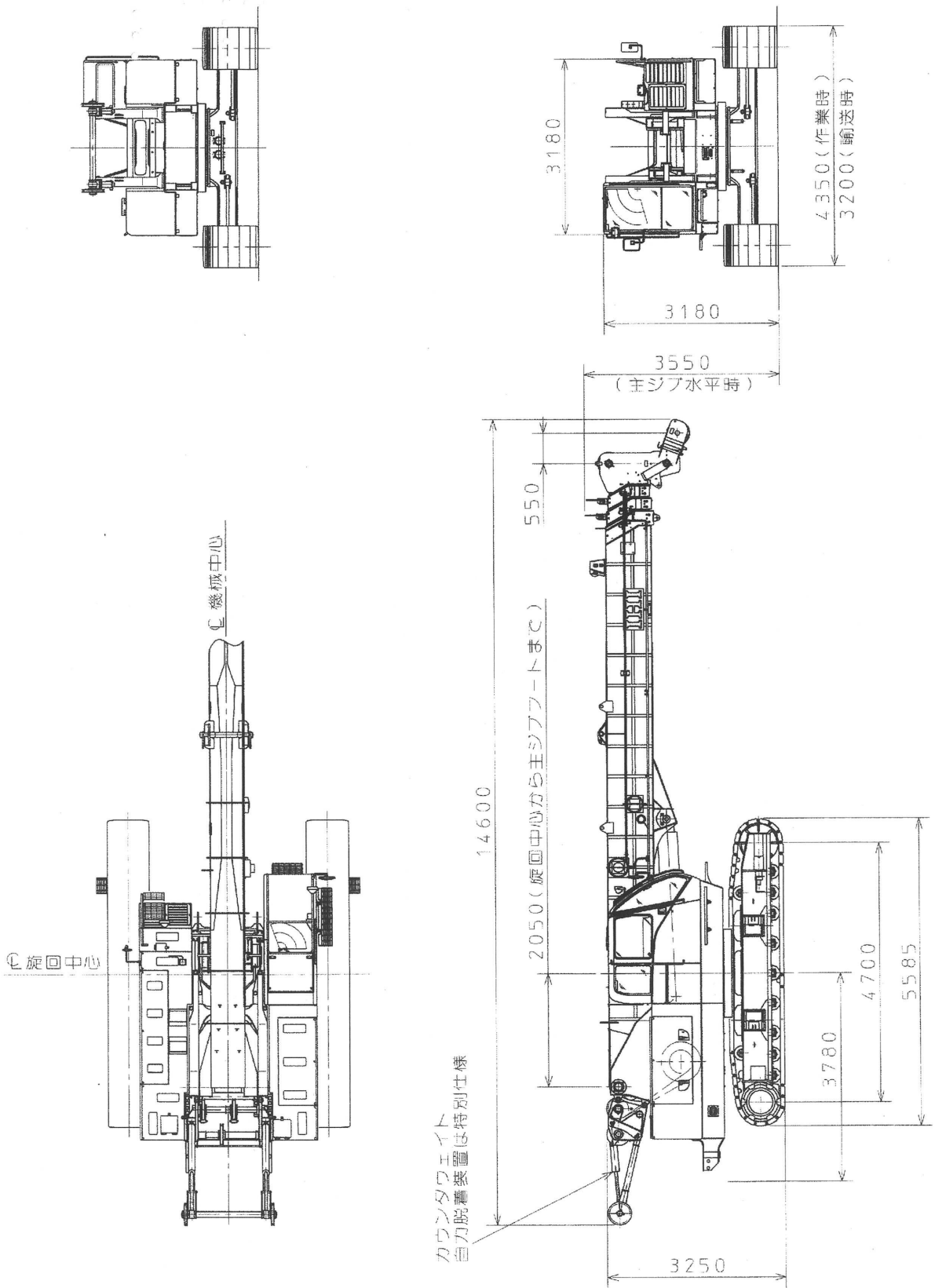


CCH500T

全体組立図(カウンタウェイト無し、クローラ張出)

Z-10040

記号	承	歴	月日	承認者	作成	記号	米	歴	年月日	担当
A	CWT無仕様にて作成		07.16	菅野 かつ	尾崎	C				
B						D				
						E				



記号	来歴	年月	担当	配号	来歴	年月日	担当
CCH500Tにて作成		02.1	石川				

ロープ構成と安全率

Z-9466

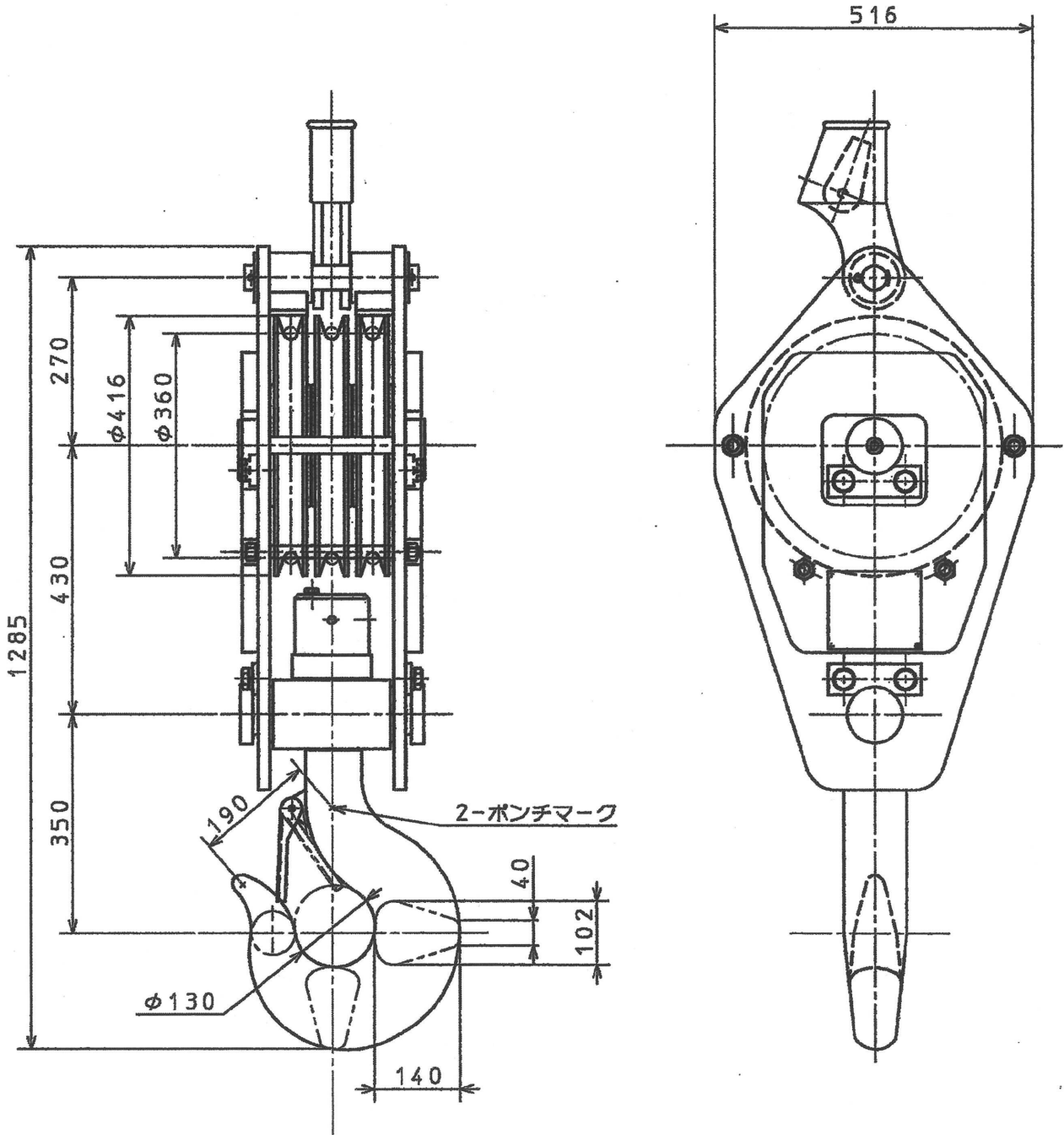
名称	呼び	構成	ワイヤーロープ径 (mm)	ワイヤーロープ切断荷重 F (kN)	ワイヤーロープ掛数 N (本)	吊上げ荷重又は最大張力 P (kN)	シープ効率 η	安全率		備考
								計算値 $F(N/P) \times \eta$	許容値	
主フック 巻上用	ファイラ-形29本織 6よりロープ芯入り	IWRC6XF(29)	20	294	1~10	490	0.896	5.38	≥4.5	
	異形織ファイラ-形29 本織6よりロープ芯入り	IWRC6XP·Fi(29)	20	334	1~10	490	0.896	6.11	≥4.5	
主フック 巻上用	ファイラ-形29本織 6よりロープ芯入り	IWRC6XF(29)	20	294	1	58.8	0.980	4.90	≥4.5	
	異形織ファイラ-形29 本織6よりロープ芯入り	IWRC6XP·Fi(29)	20	334	1	58.8	0.980	5.57	≥4.5	
シープ 伸縮用										
シープ 起伏用										
第3ドラム 巻上用	ファイラ-形29本織 6よりロープ芯入り	IWRC6XF(29)	18	238	1~6	294	0.932	4.52	≥4.5	
補シープ 支持用										

注) シープ効率ηの値は「新移動式クレーン構造規格 第41条、解説」に準ずる。

主フックブロック(削除)(30t)(削除)

Z-7717A

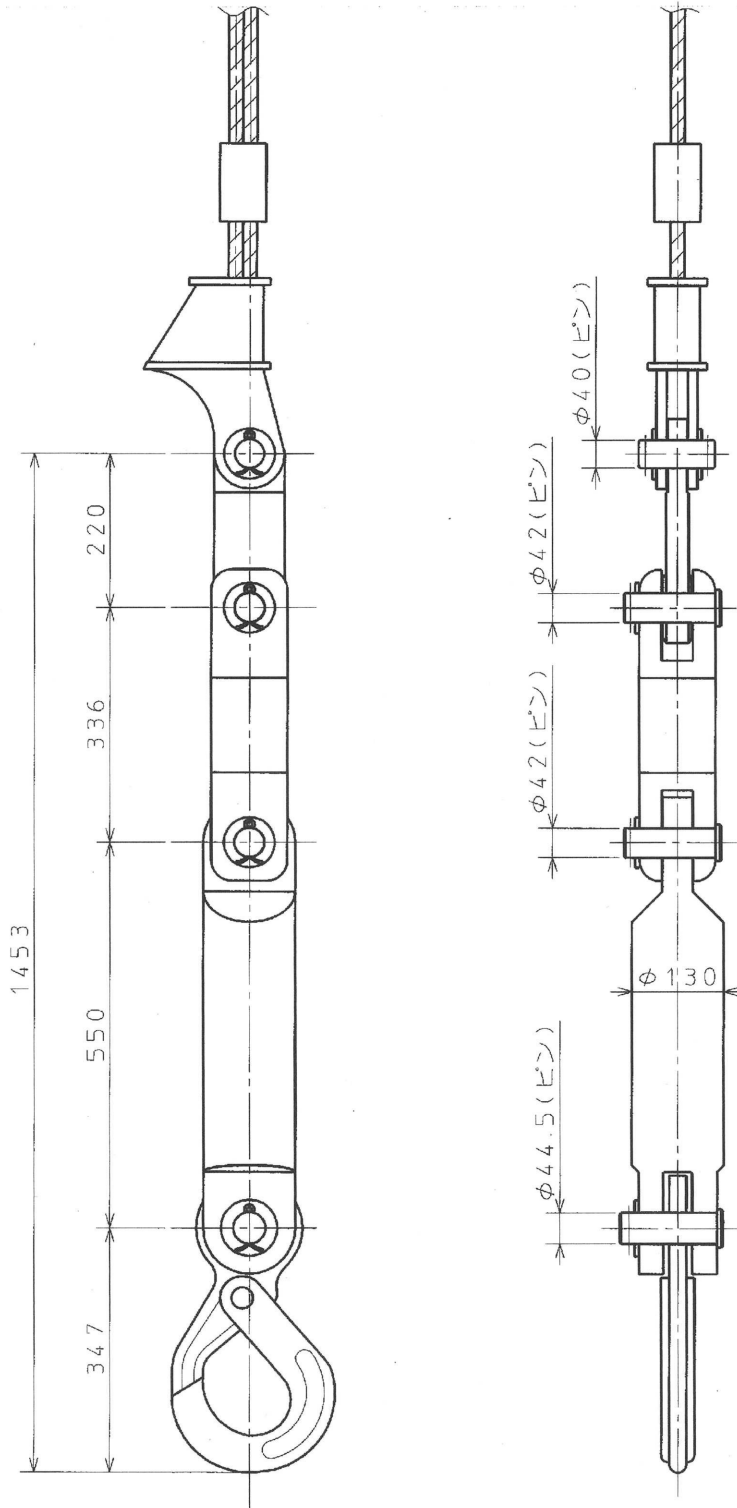
記号	年月日	担当者	年月日	担当者
A	93.12	C		
B	96.	D		
		E		



6.0tフックブロック(サルカン型)

Z-9557A

記号	来	歴	月日	承認書作成記号	来	年月日	承認書作成
A	CCH500T-5にて作成		05.12	右井古橋須山			
	伝CR-ALL-1645 書式変更		08.04.04	貴田 裕 様			

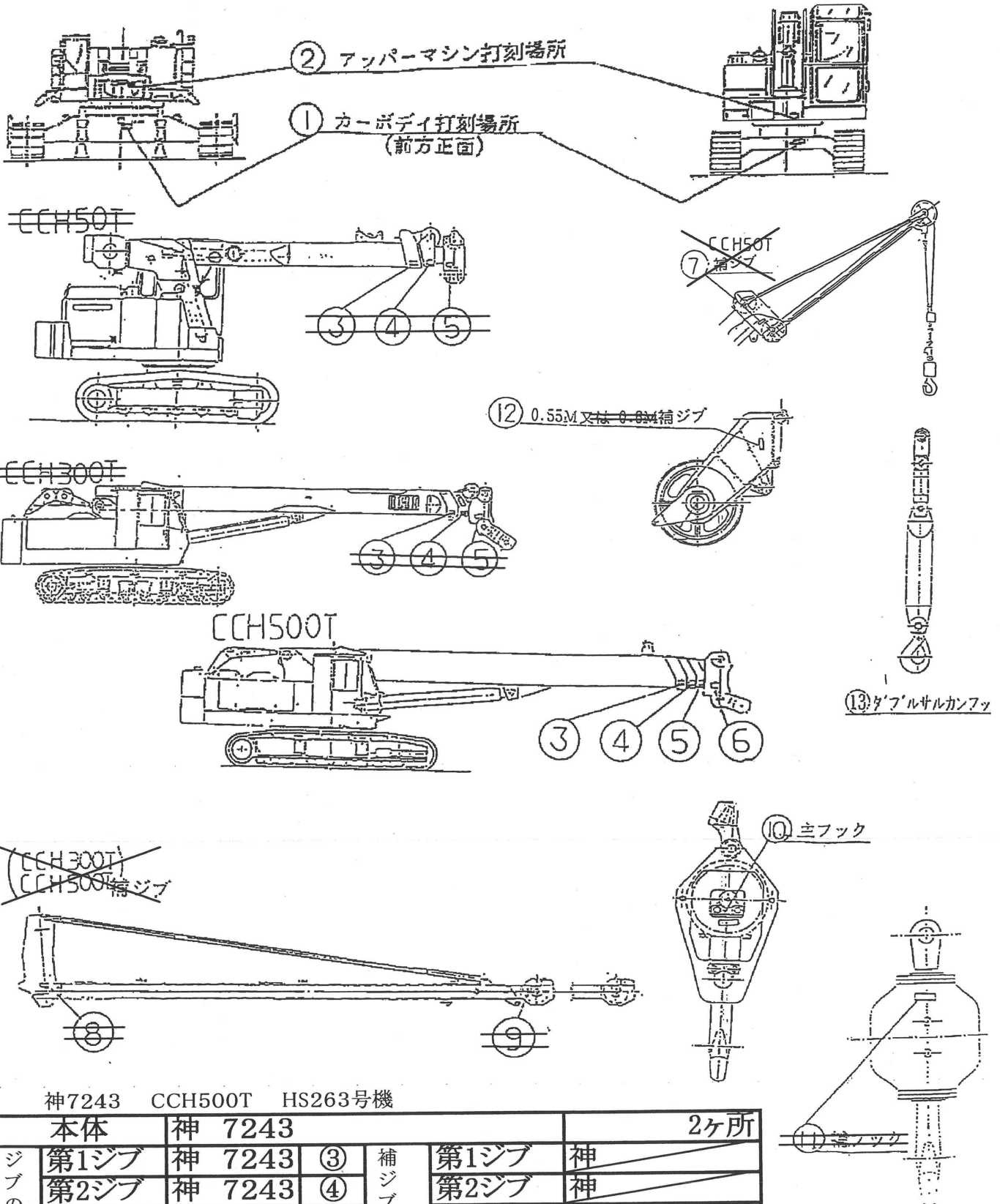


総質量: 110kg

打 刻 位 置

検 査	
検 査 月 日	平成 24年 10月 16日
神 番 号	神 7243

打刻例 神1234



神7243 CCH500T HS263号機

本体		神 7243		2ヶ所		
ジブの打刻	第1ジブ	神 7243	③	補ジブの打刻	第1ジブ	神
	第2ジブ	神 7243	④		第2ジブ	神
	第3ジブ	神 7243	⑤		0.55Mもの	神 7243
	第4ジブ	神 7243	⑥			
主フック		神 7243	50T 1個	神 7243 30T 1個		
補フック		神 7243	6Tサルカン 1個			

CCH500T

神7243

HS263号機

打刻位置

旋回フレーム

神7243 ②

カーボディー

神7243 ①

第1ジブ

神7243 ③

第2ジブ

神7243 ④

第3ジブ

神7243 ⑤

第4ジブ

神7243 ⑥

補ジブ0.55m

神7243 ⑫

50Tフック

神7243 ⑩

30Tフック

神7243 ⑩

6Tサルカンフック

神7243 ⑬